

竹下復興大臣記者会見録

(平成27年4月9日(木) 12:20~12:23 於) 東京駅)

1. 質疑応答

(問) 今日もだいぶ購入されていましたね。

(答) できるだけたくさん買うことにしてはいるんですけども、酒ばかりとか、酒のつまみばかり買って叱られています。こういう催しをどんどんやっていただいて、福島を元気づけていただくこと、それから、もう一つは、やはり時間が経つと、先ほど風評被害のこともお話ししましたけれども、もう一つ風化という風に悩んでおりますので、これはこういう催しをどんどんやっていただいて、その都度また思い起こしていただくということ、非常にありがたいことだなと。

ふくしまデスティネーションキャンペーンと、こういうふくしまフェアみたいなものがうまく重なっていくことによって、地元にとって少しでもプラスになればと。地元の人に元気を出してもらわなければいけませんから。

(問) こうして東京駅という日本の交通の要所でやるということも、やはり意義があるということですか。

(答) 意義があると思いますよ。一つは、先ほど言いましたように、デスティネーションキャンペーンとタイアップした企画だろうと思いますし、福島へともかく来てくださいということを狙ったフェアであろうと推測しますし、その効果は十分、この東京駅でやることによってあるのではないかなと期待しています。

(問) 大臣は福島でお気に入りの観光スポットであったり、食材であったりといったのは、どういったものがありますでしょうか。

(答) 観光はどこもしていませんので、実は知らないんです。何十回も行っていますけれども、被災地ばかり行っていますから、特に観光地を見たことはありません。ただ、この災害が起きる前に、何回か福島の温泉に行ったことはありますので、いい温泉がいっぱいありますので。福島駅からすぐ近いところもあるし、磐梯・裏磐梯のほうにもいい温泉がありますし、そこへは以前に行った記憶がありまして、ゆったりさせていただいた記憶がございます。

(問) 今後、いろいろそういった状況を取り戻すためにも大変なことがたくさんあると思うんですが。

(答) まだまだやらなければいけないことはいっぱいある。いっぱいあるけれども、必ずやり遂げて、ふるさとを取り戻してもらわなければいけません。それは我々の仕事でありますので、最大限努力しますし、昨日、予算が成立をしましたので、集中復興期間の5年間、その間にできることは全てやり遂げて、後半の5年間につなげていくというふうに考えております。

(以 上)